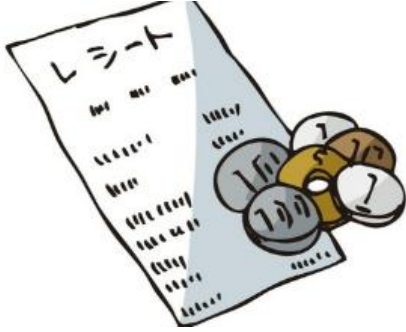


1. 食い逃げ（無銭飲食） 	会計前に「ちょっとタバコを買いに行く」などと言って逃げる グループで来店し、1人が残るように見せかけて全員が消える 対策: 怪しい動きをする客には声をかける 防犯カメラを設置し、映像を残す
2. 偽クレーム詐欺 	「髪の毛が入っていた」「料理が焦げている」 と因縁をつけ、返金を要求 「食べかけの商品が腐っていた」と言って無料にさせる 後日「嘔吐、腹痛等、体調が悪くなって仕事を休んだ」 「保健所に届けられない代わりに」と言って金銭を要求 対策: 保健所に届け出てもらい 病院の診断書を取ってもらう クレーム対応は必ず責任者が行う 明らかに悪質な場合は毅然とした対応を取る
3. お釣りマジック詐欺（チェンジ・サギ） 	お客がわざと小銭を追加で渡し、計算ミスを誘発し、 多くのお釣りを受け取る 特に忙しい時間帯や新人スタッフを狙う 対策: 一度受け取ったお金を確認し、計算し直す前に相手に返さない お釣りを渡す前にレジの計算を確実に終わらせる
4 後出し不足金詐欺（Shortchange Scam）	
	お客が会計時に正しくお釣りを受け取った後、しばらくしてから 「お釣りが足りなかった」と店員にクレームをつける。 店が混雑している時間を狙い、店員が焦って確認できない状況を作る。 店員が疑問を持たずに不足分を渡してしまうと、詐欺が成功してしまう。 対策 お釣りを渡す際に「〇〇円のお返しです」とはっきり伝える。 会計時のレシートを必ず渡し、お客にも確認してもらう。 店の防犯カメラを活用し、トラブルがあった場合に映像を確認できるようにする。

5. 他国通貨詐欺



偽札を使って支払う（特に高額紙幣でのお釣り狙い）
他国の通貨（似たデザインの紙幣や硬貨）を国内通貨と偽る
対策：
高額紙幣の受け取り時は透かしや質感を確認
海外通貨と紛らわしい硬貨があることを従業員に教育する



6. 知人を装った金銭詐欺（縁故詐欺）



「オーナーの知り合いだ」と言って金銭を借りる
「オーナーに代金をレジから受け取るように言われたと請求
「オーナーに頼まれて荷物を取りに来た」と言って商品を持ち去る
対策：
オーナーや責任者に必ず確認を取る
従業員が勝手に金銭や商品を渡さないルールを徹底

7. 着払いの荷物詐欺（代引き詐欺）



注文していない商品を着払い（代引き）で送りつける
突然空き箱に物を入れて（代引き商品です）と料金を請求
店員が備品・消耗品・発注品と思い込み、支払ってしまう
対策：
店舗宛の荷物は、事前に確認したもの以外は受け取らない
着払いの荷物は、必ずオーナーや責任者に確認してから支払う
怪しい荷物は「受取拒否」できることを従業員に周知する
不審な荷物の送り主や伝票を記録し、警察や運送会社に相談する

8. キャッシュレス決済ごまかし詐欺



○フェイク決済 (Fake Payment Fraud)：スマホの画面を見せて「支払い完了」と偽装

(スクリーンショットを使用)

○QRコードすり替え詐欺 (QR Code Scam)：店のQRコードを勝手に自分のQRコードに貼り替え、自分の口座に入金させる

○決済エラー詐欺 (Payment Error Scam)：決済エラーが出たと言いながら、支払ったふりをして店を出る

○チャージバック詐欺 (Chargeback Fraud)：クレジットカード決済後、「身に覚えがない」とカード会社に返金請求をする

対策:

決済完了画面は必ず店側で確認する (アプリの通知やレシートをチェック)

QRコードを店舗の管理下で定期的に確認する

決済履歴を都度確認し、怪しい取引があればすぐに対処する

「エラーが出た」と言われたら、別の決済手段を促す

9. イベント参加費詐欺 (集金詐欺)



「オーナー主催のイベントの参加費を集めている」

と称して金銭を騙し取る

「新しいサービスの登録料が必要」

などと偽り、支払いを求める

「商店会費」その他よくわからない「会費」や「利用費」を請求

対策:

従業員には、店の公式イベント以外での集金には応じないよう教育
金銭のやり取りが発生する場合は、オーナーまたは責任者に確認

店舗内に「スタッフへの直接の集金依頼には応じません」と返答する